

4月25日(火曜日)

訃言

訃言

余斤

門

支えに感謝。ピアノ公演

大阪でリサイタル
を開く野田さん

発達障害のある宮崎市在住のピアノニスト・野田あすかさん(35)のリサイタルが30日午後1時半から大阪市中央区城見のいずみホールで開かれる。自らの障害を知り、演奏会などを通じて同じ悩みを抱える人たちに寄り添ってきた野田さんは「ホッと安らぐような音色を届けたい」と練習に励んでいる。

野田さんは広島市出身。4歳の頃から音楽教室でピアノや電子オルガンなどを学んだ。父親の転勤に伴い、宮崎県小林市に移ったものの、幼少期からコミュニケーションを取るのが苦手なで、「自分はほかの人たちと違う」と悩み、強いストレスを感じるとパニック状態に陥った。高校ではいじめにも遭い、ピアノニストを夢見て進学した宮崎大でも

発達障害・野田さん 中央区で30日



人間関係のストレスから度々パニックを起こし、やむなく中退した。

それでも思いを断ち切れず、約1年後、宮崎学園短期大音楽科の長期履修生になった。その時、恩師にか

けられた「あなたは、あなたのままでいいのよ」という言葉に救われたという。

22歳の時、オーケストラ・ウィーンに留学し、現地の病院で広汎性発達障害(自閉症スペクトラム障害)と

診断された。これを機会に、「周囲とうまくいかない理由が分かって楽になった」と自分を受け入れられるようになり、夢の実現へ向けて再スタートを切った。

2006年、宮崎の音楽コンクールでグランプリを受賞。楽曲づくりや演奏会にも精力的に取り組み、15年には自らが作詞・作曲を手がけた「手紙と小さいころの私へ」を含む全11曲を収録したCD付きの本を出版。昨年も第2弾のCDブックを出すなど活躍の場を広げている。

リサイタルではクラシック曲やオリジナル曲を披露する。野田さんは「いつも誰かに助けられながら生活しているので、ステージではその分、感謝の思いを込めて演奏したい」と話す。